

持続可能な開発目標（SDGs）の 達成に向けた愛媛銀行の取組み



愛媛銀行は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

プロフィール



三宅 和彦(愛媛銀行 執行役員企画広報部長)

広島県生まれ 愛媛県松山市育ち

博士(農業経営学)

通商産業省(現経済産業省)入省後、愛媛大学
産学連携部門 地域共同研究センターを経て、
平成20年 愛媛銀行入行。ビジネスマッチング部門長、
営業店長、広告・マーケティング部門長を経て、平成
28年より現職。



愛媛銀行の基本的なスタンス

「ふるさと銀行」

地域金融機関の責務として、ふるさとの発展に貢献する

地方創生活動の方針

「愛媛銀行SDGs宣言」



金融サービスやすべてのステークホルダーとの対話・連携を通じて、
地域の共通価値創造、社会的課題の解決を目指す



■ 愛媛銀行SDGs宣言

国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に基づき、金融サービスやすべてのステークホルダーとの対話・連携を通じて、地域の共通価値創造、社会的課題の解決を目指します。「ふるさと」とともに持続可能な社会の実現に努めてまいります。

- ・ 社会的インパクト創出を意識した融資
- ・ ESG要素を考慮した事業性融資
- ・ 地域特性に応じた適切な知見の提供、必要な支援

事例①

H29.12.27 包括連携協定締結 西条市・愛媛銀行・プラスソーシャルインベストメント(株)



▼H29.12.29愛媛新聞朝刊



目的

大都市中心の経済システムからの転換を図り、地方から都市に流出している資金等呼び戻し、ヒト・モノ・カネが地域で循環する仕組みづくりを行う

連携事項

1. 西条市におけるローカルファンドの構築について、幅広く議論及び検討し設立を目指す
2. 検討の過程で、SIB（ソーシャルインパクトボンド）等の取組を協力して行う

事例① 西条市ローカルファンド構想



資金調達例

【市民から】

- ・寄付
- ・遺贈(寄付)
- ・出資

【民間企業から】

- ・寄付
- ・金融機関の融資、出資

【行政から】

- ・目的別補助金の運営委託

Point: 社会的収益の見える化

Point: 社会的認証(信用)

西条市ふるさと基金(仮称)
【コミュニティ財団】

地域課題の解決と地域資源を活用した地域活性化を推進するためのコミュニティビジネス等の支援



★幅広い市民参加、人のつながりが支える地域

西条市の将来像

★ソーシャルイノベーション

【人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市】

★ヒト・モノ・カネが地域で循環

★産業の新たな流れ 仕事と家庭のバランス良い暮らし

★豊かで自立した持続可能な地域社会の形成

活用例

- 助成
公益活動への補助金
事業指定寄付制度
冠基金による助成制度
- 助成+融資
金融機関との協調融資
- 融資
コミュニティビジネス
支援融資
- 西条市版SIB (ソーシャルインパクトボンド)行政補助金を成果型へ・民間投資を組み合わせる
- 地域通貨
=人と人をつなぐ交換ツール

実証中

非資金的支援
(基金と連携)

ローカルファンドとは 西条市役所のメッセージ

市民による市民のための 地域の貯金箱



仮にこの地域に財団を設立するとしても、
市役所だけでつくりあげるものではないと考えています。
「実際にこの地域で暮らす私たちに必要なものなのか?」、
「他地域の真似事で作るのではなく、地域に合った形、もしかしたら
別の形で実現できる可能性もあるのでは?」、
というようなところを、コアメンバー会議で皆さんと話し合っていていき、
「地域の資金循環をつくりチャレンジを応援できる仕組み」を
つくろうと考えています。

事例① 西条市ローカルファンド構想



平成30年度～ローカルファンド研究会
住民参加による先進事例等の学習・対話の場

STEP 1
まずは認知
&イメージ



<H30年度>

- 第1回 ローカルファイナンス総論
・SIB
- 第2回 空き家を活用したまちづくり
- 第3回 地域包括ケア
- 第4回 エネルギーによる地域の
自立・循環
- 第5回 西条高校生による研究発表
ローカルファンドを活用した
商店街活性化への提案

<R1年度>

- 第1回 水源の森の保全
～西条自然学校
- 第2回 子どもの居場所作り
～Kodomo Saijo
- 第3回 一人ひとりの支え合いによる
まちづくりを目指して
～南砺幸せ未来基金

事例① 西条市ローカルファンド構想



ローカルファンド実現への検討 おはなし会開催 R1年5月

STEP 2
具体的検討
^

西条市 × SSC



地域でめぐる
資金のおはなし

2019.5.10 (金)

時間/18:30~20:00 参加料/無料

会場/西条市市民活動支援センター

定員/20名(申込先着順)

※本会の後、希望者で懇親会有り

「SIB」「ローカルファンド」という言葉を聞いたことがありますか？
今、西条市では、地域で資金がまわるしくみづくりへの取り組みがスタートしています。
「地域の活動に活用できるの?」「こんな活動に寄付したい!」「話は聞いたけど難しく
てわからなかった・・・」など、色々な疑問やこれからのしくみづくりのアイデアをいた
だくお話を開催します。
興味のある方、どなたでも大歓迎です。お気軽にお越しください!

- ▶ SIB (ソーシャルインパクトボンド) = 個人・企業からの出資により地域活性化のための事業を行
い、成果に応じて市から交付金を交付する仕組み。
- ▶ ローカルファンド (コミュニティ財団) = 地域課題の解決や新しい挑戦を応援するために資金を出し
合い、その資金の活用を住民が主体的に決めていく「地域による地域のための財団」。将来的設立を
検討しています。

お問合せ・お申込み/西条市役所地域課(市庁舎本館3階)
TEL: 0897-52-1346 FAX: 0897-52-1230 メール: cityinfo@aisei-city.jp
※ 主催/NPO法人西条まちづくり応援団



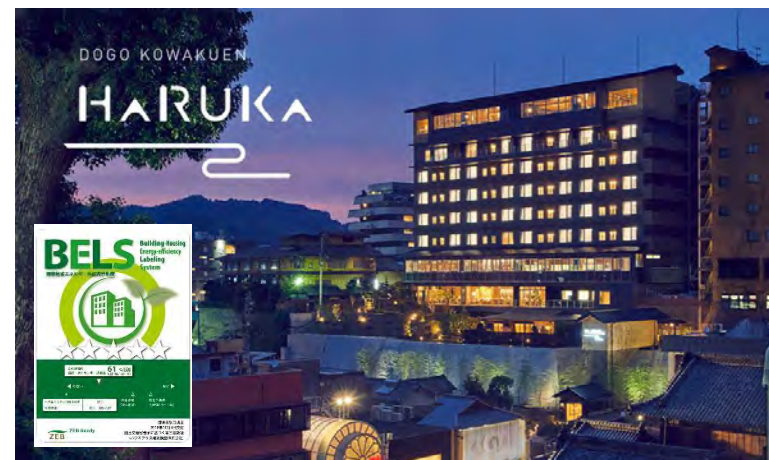
市民活動や自営業をされている方の参加が多く、特にSIBについての関心が高かったですが、将来的にローカルファンドが実現された場合には、「どんな活動に資金提供を行えるのか?」、「自分達の活動にもつながるものなのか?」という視点からのご意見もいただきました。ローカルファンドは、そうした活動への資金的・人的支援のためのものだという確認をしました。

事例② ZEB化による企業価値の向上



■ 企業概要・背景

- ホテル古湧園 遥 (HARUKA)は、道後温泉本館や松山市内を一望できる高台に建つ老舗旅館。
- 南海トラフ地震に対応するため建替えを検討。パリ協定やSDGsを受け、温暖化対策への関心が高まる中、耐震への備えと温室効果ガスの排出削減の両方を目指すことを決意。
- ZEB化を進め、「最古の温泉郷における最新の環境対応型ホテル」として生まれ変わる。



▲県内初のZEBReadyランクの建物として、BELS認証5つ星を取得

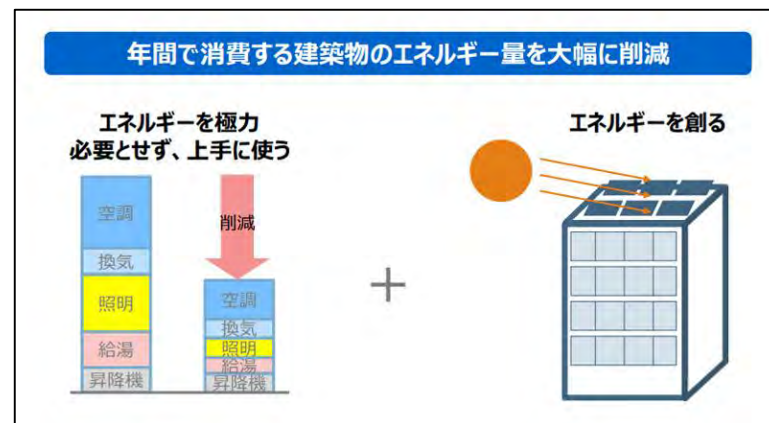
■ 主な省エネ設備と省エネ効果

①高断熱化 (屋根、外壁)	②高性能窓 (Low-E複層ガラス)
③高効率空調機	④高効率空調換気
⑤高効率換気	⑥ハイブリッド給湯システム
⑦高効率照明	⑧高効率トランス
⑨太陽光発電	⑩BEMSの導入

「一次エネルギー消費量」

導入前：18,559GJ/年 ⇒ 導入後：6,944GJ/年

62%削減



(出所：経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー対策課 資料より)



最優良取組事例 特別賞 受賞



～ 中四国で初めて受賞 ～

当行のSDGs・ESG推進を通じた企業価値の向上や地域活性化に向けた取組みが、全国の地域金融機関の模範となる好事例として高く評価される

「SDGs寄付型私募債」などの
環境配慮型商品

地域に根差した
農林水産業のファンド支援

「地域ESG融資促進利子補給
事業」を活用したESG融資

地方公共団体との連携を通じたESG・
SDGsの普及促進活動



21世紀金融行動原則とは…

持続可能な社会の形成に向けた金融機関の行動指針として、2011年に環境省のバックアップのもと策定されたもの。285機関が署名（2020年7月7日時点）。社会実態に即したテーマのもと、金融機関が果たす役割について協議。